

第7次三重県医療計画 評価表【救急医療対策】

数値目標の状況

項目		策定時	目標	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後
救急医療情報システム参加医療機関数		654 機関 【H28】	747 機関	657 【H30】	704 【R1】	695 【R2】	726 【R3】	742 【R4】	753 【R5.12月末日末現在】
受入困難事例の割合※2	30分以上	3.8% 【H28】	3.3%	3.9% 【H29】	3.7% 【H30】	3.3% 【R元】	3.2% 【R2】	4.1% 【R3】	5.3% 【R4】
	4回以上	2.3% 【H28】	2.0%	2.1% 【H29】	2.1% 【H30】	1.2% 【R元】	0.8% 【R2】	1.6% 【R3】	2.3% 【R4】
救急搬送患者のうち、傷病程度が軽症であった人の割合		54.1% 【H28】	50.0%以下	53.5% 【H29】	55.2% 【H30】	54.0% 【R元】	51.6% 【R2】	51.2% 【R3】	53.5% 【R4】
救急救命士が同乗している救急車の割合		96.6% 【H28】	100%	97.4% 【H29】	98.5% 【H30】	97.2% 【R元】	97.2% 【R2】	97.2% 【R3】	97.2% 【R4】
地域で行われている多職種連携会議の開催回数 ※1		-	38回	-	-	8回 【R2】	12回 【R3】	17回 【R4】	18回 【R5】

※1 高齢者の救急搬送に係る課題に取り組むため、「第7次三重県医療計画中間評価報告書」において、新たな数値目標として設定しました。

※2 受入困難事例割合の策定時（H28）は救急搬送人員数の傷病程度が重症以上の事案から転院搬送を引いた件数を母数としておりましたが、H29年以降は「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」の適用事案を母数として数値を算出しておりましたので、昨年度以前の部会でお示した評価表の数値から数値目標策定当時の重症以上の事案を母数とした数値に図表を訂正しております。

（参考）昨年度までにお示していた数値

		H28（策定時）	H29	H30	R元	R2	R3	目標
30分以上	実施基準	3.9	3.1	3.2	2.8	2.5	4.1	3.3%
	重症以上	3.8	3.9	3.7	3.3	3.2	4.1	

		H28（策定時）	H29	H30	R元	R2	R3	目標
4回以上	実施基準	2.4	1.7	1.8	1.1	0.7	1.5	2%
	重症以上	2.3	2.1	2.1	1.2	0.8	1.6	